

『電腦冒險記ウェブダイバー』特典ドラマCD

『Web騎士の帰還』

(仮)

第三稿改

脚本 久保田雅史

決定稿

【登場キャラクター】

グラディオオン（Vグラディオオン）

結城ケント

有栖川アオイ

結城カイト

倉知シヨウ

カロン

聖剣士クロスロード

リュウト

ダークグラディオオンバスター（DG）

ライバル

主審

アナウンス

ナレーション

□ Aパート

□ オープニング

M (オープニング)

グラディオン「ドラマCDを聴く時は、音量に注意して楽しんで聴いてくれー!」

□ ナレーション

SE (Web戦士達とデリトロス軍団との壮絶な戦い)

ナレーション「かつて惑星クーリアを壊滅させた悪魔のプログラムデリトロス。クーリア人の戦士達は死闘の末、デリトロスの討伐に成功する。だが、一万年という永き時間をかけ、デリトロスは復活! データノイドとなり、全宇宙の現実世界(リアルワールド)と電脳世界(Webワールド)、二つの世界の支配を企み、地球へと襲来した! しかし、Web騎士となったグラディオン達かつての惑星クーリアの戦士達、そして彼らと心を一つにする地球の少年、結城ケント達ウェブダイバーの活躍により、遂にデリトロスは倒された!」

ケント&Vグラディオン「ブレイク・ザーン!」

SE (ビクトリー・ザーン、一閃!)

リュウト(デリトロス)「(大苦悶) うおおおおおおおおおっ!」

SE (デリトロス、消滅)

ナレーション「そして宇宙は再び平和を取り戻し、五年の歳月が流れた…！」

□ サブタイトル

M (サブタイトル)

グラディオン『Web騎士の帰還』！

□ 結城家・ケントの部屋・朝

SE (朝のイメージ&起動し鳴り出す目覚ましアラーム)

カロン「(目覚まし時計のアラーム音) 朝だぴよこ！ 朝だぴよこ！  
気持ちのいい朝なんだぴよこーっ！」

ケント「(半分夢の中)…ん…んんっ…もうちよつと寝させてくれ  
よお…むにゃむにゃ…(再び夢の中へ) すーっ…すーっ…！」

SE (通信用パネルが勝手に起動しアオイ&カロンが現れる)

アオイ「(ガックリと落胆) はあ…やっぱり…思ったとおり…(大きく息を吸って) す…す…っ…(怒り爆発) 結城ケントおおおっ！」

SE (チュドーンと怒り爆発)

ケント「うわあああああっ…！」

SE (ベッドから転げ落ちるケント！)

ケント「痛ててて…一体、何が起こったんだ！」

アオイ「おはよ、ケント」

カロン「おはようびょ」

ケント「アオイ達かよ。(まだ眠い) ふあああああつ…まったく朝っぱらから、なんなんだ？」

カロン「朝っぱらって、もうお昼近くびょ」

アオイ「優しく) ねえ、ケント、今日はなんの日だか、当然覚えて  
いるわよね？」

ケント「キョトン) 今日? …そーいや、何か特別なコトがあった  
よーな…?」

アオイ「ニコニコ) うんうん…!」

ケント「ハッ) あ! 思い出したぜ! ズバリ、振替休…」

アオイ「(食い気味に) 違〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜う!」

SE (再びチュドーンと怒り爆発)

ケント「(トキッ) いいっ!」

アオイ「(激怒) 大切な記念日でしょっ! あなた達、ウェブダイバ  
ーがデリトロスの手からマジカルゲートを取り戻した五周年のセ  
レモニーのあるっ!」

ケント「(気圧され) そーいや、そーだったよーな…」

アオイ「だったよーなじゃな〜いっ! (拳を握り的に) 今日の五  
周年の記念セレモニー、その準備のために私がどーんなに苦労さ  
せられたと思っているのっ! (ムーツ) 大体、おじいちゃんが  
全部私に押し付けて海外出張に行っちゃうから! (まくしたて)

会場の準備は勿論、ゲストの選定、各種関係者への許可申請! そ  
してパーティーで出す料理やドリンク、マジカルステーションか  
ら打ち上げるお祝いの花火、子供ゲスト向けの着ぐるみ、果ては  
会場に設置する簡易トイレの手配まで…ぬわんでうら若き乙女が、  
トイレの設置場所で昼も夜も悩まなくっちゃいけないのよっ!」

ケント「(遮り) いやっ、そんなコト、オレに言われても…」

アオイ「(逆三角のジト目で)とにかく、今日のセレモニーの主演はケントなんだから、遅刻したらずえったいに許さないからね!」  
ケント「(気圧されて)は、はい…」

アオイ「それと毎晩遅くまで竹刀振り回すのも結構だけど、こんなに朝寝坊して…少しは体を労わりなさい。ムキになっちゃって…いつまで経っても子供なんだから…」

カロン「ケント、あまりアオイを怒らせない方がイイぴよ!」

SE (ブツンと通信終了)

ケント「はあ、最悪の寝起きだ…」

カイト「(鼻で笑い)フフンッ」

ケント「(ハッ)ん? わっ、カイトお! いつの間に…?」

カイト「(からかい半分でわざと気色悪く)おはよう、兄ちゃん」

ケント「(気色悪っ)な、なんだよ? 何か言いたそうな顔して…」

カイト「(ニヤニヤ)いや、今朝も仲いいなって思っつて。(耳元で意味深に)アオイさんとお〜っ」

ケント「(赤面)だあっ、うるせえ! 勝手に人の部屋、覗くな!」

カイト「顔が赤いぞ」

ケント「くっ! (枕を投げて)とっとなと出てけっ!」

カイト「(逃げ出し)ハハハッ!」

SE (ドアを閉じて逃げ出すカイト&ドアを直撃する枕)

ケント「カイトのヤツ…………でも、いつまで経っても子供、か…」

SE (ブツンと通信。パネルが再度起動)

ケント「通信? またアオイか? ったく…だーかーら、ちゃんと

時間どおり行っつて…」

グラディオン「アオイ？ …なんの話だ？」

ケント「へっ？ 誰？ わっ！」

SE (通信パネルから飛び出す光&光、グラディオンになる)

ケント「ウソお！ 通信パネルから誰か出て来た！」

グラディオン「(振り向きのに) 久しぶりだな、ケント！」

ケント「へっ？ グラディオン？ …グラディオンじゃないか！」

□ 結城家付近・海辺の公園

SE (波音&海鳥の鳴き声)

ケント「会うのはアンドロメダ星雲まで一緒に旅した時以来だな」

グラディオン「(真顔で) 老けたな…ケント」

ケントのM「もうちょっとマシンな言い方ってもんがあるだろう？

大きくなったなあとか、立派になったなあとか…」

グラディオン「(無表情的に) どうした、ケント？」

ケント「はあ…それで、Web騎士達は見つかったのか？ 別れ

る時、言ってたよな。惑星クーリアが滅亡した時、グラディオン

みたいな宇宙の電腦空間に飛ばされた仲間を捜す旅に出るって

「…」

グラディオン「うむ。まだ旅半ばだが、何人かと出会うコトは出来

た。その誰もがそれぞれの惑星(ほし)の電腦空間でWeb騎士

として立派に活躍していた」

ケント「そっか。みんな遠い宇宙の彼方で頑張っているんだな。で、

一体、グラディオンはどんな冒険をしたんだ？」

グラディオン「(思案)冒険…冒険か…。ど」から話せばいいのか…。

そうだな…あれはケントと別れてすぐの話だ…」

SE (波音&海鳥の鳴き声／時間経過)

ケント「(元気なく)ふうくん、この五年間、グラディオンも大変だったんだな〜」

グラディオン「(気付き)どうした、ケント? あまり元気がないよ  
うに見えるが…」

ケント「(あまり言いたくないな)別に大した話じゃないさ。コッチはコッチで五年の間、イロイロあったってコト…」

グラディオン「(優しく)よかったら、話してくれないか…?」

ケント「うーん…(シブシブ)じ、実は…」

□ケントの話・剣道のイメージ

SE (剣道の試合のイメージ／打ち込む音等)

ケント「戦いが終わって平和になって、オレは五年間、ずっと剣道に打ち込んで来たんだ。おかげで腕もかなり上がって、全国ジュニア選手権で準優勝するまでになったんだぜ」

グラディオン「すごいじゃないか、ケント」

ケント「だけど、いつも結果は準優勝。同じ歳にとんでもなく強いヤツがいてさ、そいつにだけはどうしても勝てないんだ。今年は中学最後の年、国際ジュニア選手権に出られる最後のチャンスなんだけど…出場の条件は全国優勝。大会も目の前に迫って、毎日猛特訓してるんだけど…なんか全然、勝てる気がしなくて…」

× × ×

——イメージ終わり

グラディオン「その猛特訓のせいで寝坊したり、疲れたような顔を  
していたのか…」

ケント「(自虐気味に)焦っているのか、それともアオイが言うように、オレがまだまだ子供で「負けたくない」って気持ちが先走っ

ているのか……。武道で大切なのは相手との勝ち負けじゃなくて、己との戦い…そんなコト分かってるつもりなだけじゃ」

グラディオオン「そうか……。…（ちょっと思索して）ケント、あの戦いを覚えているか？」

ケント「(キョトン)あの戦い？」

SE (寄せては返す波音)

グラディオオンのM「それは最終決戦の少し前の話だ」

□ケントの回想・デリトロスゲート・マジカルステーション

SE (飛行中のマジカルステーション&敵の攻撃！)

(着弾して爆発&ブリッジに轟く警報！)

ケント&カイト「爆発と衝撃にフロアに倒れ」うわあああああっ…」

カロン「このままではマジカルステーションがもたないぴよ」

シヨウ「くうっ！ どうなっているんだ？ こんなトコロにデリト

ロスの大部隊が隠れているなんて？」

アオイ「おかしいわ。偵察部隊に見つかからないよう、わざと遠回りしてデリトロス城に向かっているの…」

カイト「もしかして戻っているヤツ？」

カロン「それは有り得ないぴよ」。恐らくリュウトは我々がデリト

ロス城へ向かっているコトに気付いているぴよ。行先が判っているのに、わざわざこんな辺境空域で戻を仕掛ける必要ないぴよ

」

アオイ「前方に次元変動空域出現！ 吸い込まれるわ！」

SE (次元変動空域に吸い込まれるマジカルステーション！)



アオイ「Webソルジャーが来る！ 気をつけて！」

SE (連続被弾&連続爆発、そして大爆発！)

ケント達一同「わああああああっ (キャ~~~~ッ)！」

SE (鳴り響く警報！)

アオイ「懸命に操縦 (うつつ…推力急速低下！)」

ケント「みんな、何かに掴まれっ！」

SE (ズドーンと墜落するマジカルステーション！)

□全・デリトロスゲート境界空域・封印の遺跡A

SE (ブリッジに幾つも鳴り響く警告音！)

ケント「立ち上がりのに (うつつ)、無事か、みんな？」

カイト「目が渦巻状態のへろへろで (う、うん…大丈夫だお…)」

SE (レーダーに反応！)

ケント「何処だ、ここは？ 何かの遺跡みたいだけど…」

カロン「わわわっ、全方位からWebソルジャー、急速接近！ と

んでもない数だびょー！」

ケント「マズい！ グラディオンで出るぞ！」

アオイ「駆け出すケント達の背中に (急いで飛行プログラムを修復するわ。それまでなんとか時間を稼いで！」

SE (駆け出しブリッジから出て行くケント&シヨウ！)

□ 全・MSブリッジ→グラディオン格納庫

SE (ケントが乗ったエレベーター降下&停止!)

ケント「ウエブダイブ！ グラディオン！」

SE (ケント、グラディオンにウエブダイブ！)

(輝くグラディオンのエンブレム！)

(扉が開き、グラディオン・ビークルモード発進位置へ！)

カロン「グラディオン・ビークルモード、緊急発進スタンバイ！ グラディオン、シュート！」

□ 全・デリトロスゲート・辺境空域・遺跡A

SE (グラディオン・ビークルモード、緊急発進！)

ケント「ウエブチェンジ！ グラディオン・ファイターモード！」

SE (グラディオン、ファイターモードにウエブチェンジ！)

(顔のグランアーメットが作動！)

グラディオン「来てくれ、ワイバリオン！ 私に勝利の力を！」

SE (飛来&変形するワイバリオン！)

(ワイバリオン、グラディオンと合体！)

Vグラディオン「(決めて) ビクトリーグラディオン！」

SE (Vグラディオン、ビシッと決めポーズ！)

□全・デリトロスゲート・遺跡A

SE (飛来するソルジャー群、発砲！)

ケント「来たぞ！」

Vグラディオン「グランブレード！」

SE (ジャキーンとグランブレード出現！)

Vグラディオン「はあっ！」

SE (Vグラディオン、連続斬り&連続爆発！)

Vグラディオン「グランマグナム！」

SE (グランブレード、変形してマグナムになり、連続発砲！)

(連続狙撃されるWebソルジャー、爆発！)

Vグラディオン「グランブラスター！」

SE (グランブラスター、発砲&Webソルジャー群、撃破！)

ケント「ウソだろ？ また現れた！ これじゃ、いくら倒してもキリがない！」

Vグラディオン「こうなったら… (ブレードを見て) むっ！」

SE (グランブレードが発光&共鳴音！)

ケント「どうなってるんだ？ グランブレードが輝いてる」

Vグラディオン「この反応…何かに共鳴しているのか？」

SE (ブレードの反応の方へ向き直るVグラディオン！)

Vグラディオン「…この方向だ！」

シヨウ「(ハッ) そうか！ 分かったぞ、ケントくん！ ココには何かデリトロスにとっても重要なモノがあるんだ！ 恐らくこのWebソルジャーの大群はそれを守るためのもの！」

ケント「その何かとグランブレードが共鳴しているのか？」

SE (Vグラディオンに連続着弾！)

ケント&Vグラディオン「(攻撃に) うあああああああっ！」

シヨウ「くうっ！ ケントくん、僕もダイタリオンで出る！ ココは僕に任せて行けっ！」

ケント「(困惑) でも、シヨウさん…」

シヨウ「デリトロスがこれだけの戦力を使っても守りたいモノ…もしかしたら僕達の戦いを有利にするモノかも知れない…早く行けっ！」

ケント「…(決意) わかったよ！ グラディオン、行こう！」

SE (グラディオン、ズバーンと翔んで行く！)

□ 全・デリトロスゲート辺境空域・封印の遺跡B

SE (飛行するVグラディオン！)

(共鳴反応が強くなるグランブレード！)

Vグラディオン「グランブレードの共鳴が大きくなっている…かな

り近いぞー！」

SE (Webソルジャー数機、攻撃しながら接近！)

Vグラディオオン「Webソルジャーめっ！ (斬り) ハッ！ ハアッ！」

SE (斬られ真っ二つになるWebソルジャー、爆発！)

(突如、遺跡の一角から沸き上がる閃光！)

ケント「くうっ、眩しい！ 遺跡から光が…なんだ？」

Vグラディオオン「あれだ！ グランブレードはあの光の柱を指し示しているー！」

SE (飛来し、ズーンっと着地&歩くVグラディオオン！)

Vグラディオオン「一体、この場所に何が…？」

ケント「見る、グラディオオン！ 光の柱の根本…何かある！ (目を凝らし) あれは…緑色のクリスタル？」

Vグラディオオン「(ハッ) 違っ！ あれは…聖剣グランスレイヤーだー！」

ケント「聖剣グランスレイヤー？」

M (アイキャッチ/Aパート・終了)